

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」磐田校 保護者等数（児童数）66名：回収数：54名 割合：81%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	49	4		部屋の数や広さなどについては十分なスペースであると思います。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	50	3		専門的な知識を持った先生方がいらっしゃって、様々な観点から適切なアドバイスをいただける。 ↓ 各職員が得意とする分野において他の職員にも伝えていき、校舎内での研修を行っています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	30	25	1	バリアフリーではないかと思います コロナのことで、あまり教室内に入る機会がなくわかりません。 ↓ 2階がありますが、移動手段は階段のみのためバリアフリーとは言えない状況です。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>1</sup> が作成されているか	50	2		相談支援事業所の利用計画に基づき、保護者や利用者の要望を取り入れた支援計画を作成しています。
	⑤	活動プログラム <sup>2</sup> が固定化しないよう工夫されているか	45	8		常に職員全員で校舎内研修や会議を行い、各利用者のプログラムについて、検討、工夫をしているつもりです。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	15	27	求めている支援内容ではないため、このまままで問題ありません。 コロナ禍で交流などはあまり無いように感じます うちの子は大人数が苦手なため今の交流はなしの状態です満足しています。 必要はない ↓ 個別療育を主に行っているため、地域や周辺の事業所やクラブ等との交流は行っていません。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	51	1	1	契約時、全ての保護者に対し説明をしておりますが契約時の一度だけのため、丁寧な説明とはいえないかもしれません。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	49			職員によってはばらつき有り。取り組んだ内容と子どもの姿だけでなく、なぜその課題にしたのか、達成具合からみえた課題や青果、次のステップはコレだよねと都度一緒に確認してもらえると、家でも意識して取り組んでいけるものもあると思う。 ↓

				職員の経験年数の差があることで、保護者のかたへの申し送りの仕方が未熟で、申し訳なく思います。今後も引き続き、校舎内での研修の中で、保護者へのお伝えの仕方についても職員間で共有をし、意識を高めていくようにしたいと思います。
⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	44	9	<p>共感、傾聴してくださり感謝しているが、もう少し踏み込んでアドバイスが欲しいと感じることがある。</p> <p>面談の機会はあまり無いように感じます</p> <p>↓</p> <p>全ての保護者に対し、都度面談を希望されるかたは随時行っている旨お伝えしていますが、契約のタイミングによっては、アナウンスが十分でなかった時期もあったかもしれません。個別での面談、集団での面談（きらりカフェという保護者会）ともにどなたでもご参加可能ですので、おっしゃっていただけたらと感じています。立ち話だけではなく、じっくり腰を落ち着けて対面でお話を聴かせていただけたらと思います。</p>
⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	43	10	<p>あまり回数がないように感じます</p> <p>以前に保護者会に参加したのですが、うちの子は不登校なため学校の話が出ると私がつらくなってしまいました。もし可能であれば不登校の親のみの保護者会があると嬉しいです。なかなか参加できないので。</p> <p>↓</p> <p>集団での保護者会は年間カレンダーで年度当初にお伝えし、一年間に6回行っていますが日程的に、必ずしも全ての保護者が参加できるとは限らない状況のため、1年間に一回でも参加していただけたらと思います。</p> <p>集団での保護者会に参加くださった保護者同士がずっと連絡を取り合って情報を共有されているというお話もうかがっております。</p>
⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	40	13	<p>苦情対応については、校舎内の職員全員で共有し、解決に向けての対策を講じるように話し合う機会を設けています。</p>
⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	48	5	
⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	49	4	<p>ホームページの中に磐田校のブログを開設し、定期的に活動内容を発信しており、更新の際には、保護者へのLINEやメール等でご案内をしています。</p>
⑭	個人情報に十分注意しているか	51	2	<p>スタッフと保護者の共通の知り合いではあるがスタッフでない人に自宅を教えられたり、コロナにかかったことを教えられたり</p>

					<p>して、個人情報保護の感覚には不信感を持っている</p> <p>↓</p> <p>上記について、具体的にいつのどういった事例であるのか確認が取れていないため大変申し訳なく思っております。</p> <p>職員のほとんどが近隣の地域で生まれ育っているため、職員の知り合いがたまたま利用者とお知り合いだったといった事例は少なからずあると思います。全職員、改めて公私混同することなく個人情報保護に関する意識を高めていきたいと考えています。</p>	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	43	9	1	<p>緊急時対応マニュアルについては契約時に全ての保護者に説明しています。その他防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等、校舎の中に掲示されていますが、コロナ禍で面談以外の時に校舎内にお入りいただくことがないため、周知されているとはいえない状況だと思えます。</p>
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	48	5		<p>我が家利用時にやっていないだけかも</p> <p>↓</p> <p>契約者が約85名、訓練が月に1度だけということで、利用開始後2年に1回程度しか訓練自体には参加できない状況です。しかし、利用者の目に触れる場所に訓練の予告、計画を貼り、口頭では説明しています。また、ブログでも毎回ご紹介していますので、ぜひ、ブログをご覧ください。</p>
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	47	6		<p>とても楽しみにしています</p> <p>アルコールするのが嫌だと言います。</p> <p>↓</p> <p>アルコール消毒は時節柄協力をしていただきたいところですが、強制ではなく、アルコールが嫌いな子には、ぬるま湯の出る水道での手洗いを勧めています。</p> <p>通常の個別のときは楽しみにしていますが、集団は苦手なようです。</p> <p>↓</p> <p>本来は個別療育が基本ですが、磐田校は令和4年度から1か月に一度だけ小集団の週を設け、学校や園生活の集団よりはやや小さな4名～5名程度での小集団の中での人との関わりを身につけて欲しいと考え、毎月職員全員で話し合い、毎回趣向を変えて支援を行っています。</p>
	⑱	事業所の支援に満足しているか	46	7		<p>学習について、丁寧に復習をしていただいています。加えて現在の力のチェックをし内容の見直しを定期的に行ってもらえるとさらに嬉しいです。</p> <p>↓</p> <p>「きらり」では「学習支援」は行いますが、塾ではないということで、あくまでも「学習に取り組む気持ち」を養い、「定着」</p>

			<p>できるように励まし、支えることが目的となっています。ご理解いただけますと幸いです。</p> <p>なるべく希望に添うように努力していると思うが、多動症の子どもに対して、積極的にお話ができました！と褒められても通わせている意味を感じない。内にこもるタイプと区別できているのか疑問。</p> <p>↓</p> <p>⑧でも載せていますが、職員によっては、保護者へのフィードバックをするだけで緊張してしまう者もあり、利用児の特性は十分に把握していても、フィードバックの中の言葉の違い方に不慣れな者もいます。大変申し訳ありません。</p> <p>「療育のプロ」としての意識、自覚を持ち、フィードバックまで責任をもってお伝えできるように引き続き研修を続けていきます。</p>
--	--	--	---

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2023 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」磐田校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	0	0	個に応じて支援室を変える、衝立や個室を使うなどの配慮を行っています。
	②	職員の配置数は適切であるか	9	0	0	法令を守って配置していますが、公休や有休をしっかりと取得するためには、常勤職員がもう少しいたほうが運営しやすいと感じます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	6	0	1階部分についてはトイレの入り口がやや狭いことを除き大きな問題はありませんが、2階があることで階段以外の方法がないという点では、バリアフリーとは言えない状況です。 2階の階段周辺には柵を設置する、窓が全開にならないようにサッシに細工をしているなどで危険を回避できるようにしています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9	0	0	新年度が始まる前に職員全員で年間計画を考え、それぞれの分掌の業務について、責任をもって行動できるようにしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	0	0	保護者対象の事業所評価を行ったうえで、ホームページに上げていますが、ご存じでない保護者もあるので、都度保護者に伝えたり、保護者の意向を聞いたりすることで業務の改善につなげています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	0	0	ホームページに掲載し、ブログの更新の際、一斉にLINE やメールで保護者に伝えていますが、気づいていないかたもあるため、繰り返し伝えていきたいと考えています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	9	現段階では行っていません。今後行う場合には、保護者にはお伝えする旨、契約の際に説明しています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	2	0	会社が主催する研修会が定期的にあるので、できるだけ全員が参加できるようにはしていますが、日々の業務に時間を割かれ参加できない時もあるため、参加した職員より確実な方法で報告を聞くようにしています。
適切な支援の	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	5	0	放デイ利用者については、進級時に全員のアセスメントを改めて行うべきであったが、1割程度、アセスメントが完全にはできていない利用児がありました。引き続きアセスメントを適切に行うことができる体制を整えていきたいと考えています。

提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	2	0	標準化されたものを十分に活用できていないことがありました。引き続き十分に活用できるように研鑽していきたいと思えます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	2	0	必要に応じた話し合いの機会を設けています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	1	0	固定化しないように、各指導員の得意分野を活かした支援ができるように、課題を設定しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9	0	0	祝日や長期休暇などに通常と異なるイベントを企画し、支援内容がマンネリ化しないように全職員で話し合うことでアイデアを出し合っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	0	令和4年度より、毎月小集団の週を設けることで、個別支援とは異なる支援内容を行う旨計画の中に記載しています。また通常支援の際にも最後の10分弱は同時時間帯の他児と関わる時間や場所を保障しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1	0	毎日の朝礼で担当や予定の確認を必ず行うようにして、利用児の部屋決めもこの時間で行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	4	0	勤務時間の終了時刻と最終時間帯の支援終了時間がほぼ同じため、翌日の朝礼の際に、振り返りを行っています。出勤でない時には、校舎内の共有チャットを使って情報を共有できるようにして、常に全職員が全利用者のことを把握できるように心がけています。
関係機関や保護者と	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	0	毎回の支援の終了後には必ず記録を残し、校舎内全職員が共有できるスペースに保存し、次回の支援につなげるように努めています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	4	0	定期的（6か月ごと）に担当した職員間で話し合いのうえ、モニタリングをし、6か月間での成長点を共有したり、次のステップに向けての課題を共有したりしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	5	0	職員自身がガイドラインをしっかり理解できるように共通理解を図っています。
関係機関や保護者と	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	0	0	会議参加の前には必ず担当した職員間で話し合いを行ったうえで会議への持参書類を作成したうえで、会議に臨むようにしています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8	1	0	送迎は行っていませんが、学校行事について、保護者より年間計画を提供してもらうことや、学校との連携会議のために担任に連絡してもらうなど保護者を通して連絡調整を行っています。

の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	0	9	現状では該当児がいないため行っていませんが、利用児の主治医とは書面を通じて連絡が取れる体制を整えたり、実際に担当のリハビリ担当者に来ていただき、会議を行ったりしたことがあります。
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	0	9	現状ではこういったことはありません。
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	7	1	こういったことがほとんどない状況ですが、放デイを終了した利用者が雇用された先の担当のかたと連携を取ることは可能であると保護者より聞いています。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	2	0	市は異なりますが、専門機関の専門職のかたの指導の下、研修に参加し、助言を受けるといった機会が年間に5回以上あります。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	9	一日1回1時間だけの個別療育が基本となっているため、地域の他事業所と交流する機会をもつことは物理的に難しいです。
	㉕	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	3	0	回数は少ないですが、自立支援協議会主催の会議にはできるだけ参加できるように努めています。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	0	日々の支援の後には必ず指導員から保護者に対しフィードバックを行い利用児について、支援の内容や児の様子などを伝えることで共通理解するようにしています。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3	3	正式なペアレントトレーニングは行ったことがありませんが、対保護者で相談支援を行い、事業所のできる範囲の提案や支援は行っています。
	㉘	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	1	0	契約時に細かく説明をしていますが、契約全般の説明の中で行っていますので、必ずしも丁寧な説明になっているかは不明です。
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	2	0	子育て経験のある職員は自身の経験を交え相談に応じて助言や支援ができていますが、自身の机上での知識のみで相談支援を行っているという職員もあり、全部が必ずしも適切な対応とは限らない状況です。
	㉚	父母の会の活動を支援する、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	0	0	父母の会の活動というものは特にありませんが、保護者会は一年間に6回定期的に開催し、できるだけ保護者同士も連携を取ることができるように支援しています。
	㉛	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	4	0	苦情対応受付については契約時に説明、案内していますが、実際に今のところこういった状況になったことがないため、実際に迅速に対応できるかどうかはわかりません。しかし、迅速に対応できる過程は用意しています。

	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	3	0	会報ではありませんが、ブログやホームページ、一斉でのLINE配信などを活用して校舎内の情報はできるだけ速く正確に伝えることができるように努めています。また、必要に応じてプリントの配布をしています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	9	0	0	全職員が十分に注意しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	0	配慮をしています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	9	事業所の特徴上、地域住民との関わりをもつことは難しい状況ですが、自治会には加入し、回覧板の仲間に入れていただき、地域の情報は職員間で得るようにしています。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	4	0	全てのマニュアルは校舎内の事務室に掲示してありますが、コロナ禍で面談以外で保護者が入室する機会がなく、保護者がこういったものを目にすることはほとんどないと思います。しかし、こういったものを策定していることはできるだけ周知するように努めています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	0	訓練は毎月必ず1回行っていますが80名を超える契約者がこの訓練に参加できる機会は早くても2年に1回程度しかないので、実際に体験できない利用児のために、毎月訓練当日の2週間程度前から玄関に訓練予告の掲示物を掲げ、利用児には口頭で説明をして、関心をもってもらうようにしています。また訓練終了後には必ずブログに掲載し、一斉LINEで保護者には伝えていきます。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	0	法人全体で虐待防止委員会を設立し、定期的に委員会の会議を開催、校舎では毎月振り返りとして虐待がなかったか確認する機会を設け、書面に記録しています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	5	0	身体拘束については契約時に重要事項説明書の中で記載をしています。個別支援計画への記載もし、通常では身体拘束は行わないけれども、緊急やむを得ない場合に限り、(切迫性、非代替性、一過性の3要件を満たしている場合)は身体拘束を行うことがあるかもしれない旨伝え、もしそのような場合には必ず説明、報告、開示を行う旨も説明しています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	0	9	食事やおやつを提供を行っていないために特に食物アレルギーについての把握は行っていません。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	0	支援の中でヒヤリハットに該当する事例を敏感にとらえ、実際に起こった場合には即時に対応し共有しています。